

海外派遣研修プログラム タイ (チェンマイ大学 Suandok 病院)
医学科 平成 21 年度入学 阿瀬井 宏佑 (派遣期間 H26.6.9~7.4)

今年からチェンマイへの派遣が始まったため、事前情報があまりない状態での渡航となったが、行ってみれば現地は治安的にも安定しており、寮も大学病院の近くにあるということで、住みやすい環境で実習ができた。この報告書では、「現地での寮や食事、周辺にある施設について」と「実習をチェンマイで行う上でのポイントについて」書いていきたいと思う。

まず、空港からは現地の学生と連絡をとって、迎えに来てもらい、そのまま寮に向かってどの部屋か案内してもらおう。寮の部屋には扇風機とデスクのみがあった。Wifi は学生に聞くと設定の仕方について教えてくれる。病院からは徒歩5分以内の近さにあり、また同じく徒歩5分でコインランドリーやスーパーマーケットもあり生活することに困ることはなかった。食事は寮内にある学食で食べるか、近くのニマン通り周辺で食べることが多かった。学生やレジデントが食事と一緒に連れて行ってくれることもある。みな親切で優しいのであまり心配しなくてもよい。

実習については、2週間麻酔科、2週間外科(1週間腹部外科、1週間形成外科)で実習した。麻酔科についてはまず、スーパーバイザーと会って、何をしたいかを尋ねられた。そこで、気管挿管などの手技がしたい、どのような麻酔を見たい、などの自分の意思をはっきり示す必要がある。その後、2週間の手術に入る予定表をもらい、その通りに行動することがメインになる。

外科に関しては、出発前に外科のうち、どの科で実習したいかを連絡しておく必要がある。そこで決まった科で実習することになる。腹部外科は手術と外来がメインとなっていて、学生に聞いたところ、かなり大変な科であるようだった。形成外科は予定が基本的に決まって無かったので、学生について回ることができた。形成外科では(他の科でもそうかもしれないが)スーパーバイザーにどうしたいかを伝えたら基本的に自由であった。私の場合、学生についていった方が、会話もできるし情報も聞けるので楽しく有益な感じがした。

最後に、実習で選ぶ科に関しては、内科系、マイナー系、救急の方が多分楽しい気がする。麻酔科はまだ手技をやらせてもらえることがあったが、メジャー外科になると、やらせてもらえることがほとんどなく、ただ見学することになるので、よっぽど見学好きじゃ無いとしんどいと思われる。実習先の科で、明確な予定表をもらえるところもあれば、もらえないところも多いので、実習内容をどうしたいかを最初に述べるべきかもしれない。